



平成25年8月19日(月)

国土交通省 関東地方整備局

宇都宮国道事務所

記者発表資料

『技術開発・工事分離型』を全国で初めて試行的に適用

「新4号国道 新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の
技術開発業務」の手続きを開始します

近年、大型車の交通条件の厳しい路線を中心にU型の縦リブを使用した鋼床版の疲労亀裂が発生することが問題となっております。

新4号国道新利根川橋は、昭和54年に架設された鋼3径間連続鋼床版箱桁橋3連(L=751.1m)の橋梁で、交通量は約26,000台/日(大型車混入率 約62%)で、鋼床版Uリブ等に多数の疲労亀裂が発生しており、加えて橋面舗装においても、わだち掘れやひび割れが生じている状況にあります。

宇都宮国道事務所では、新利根川橋の舗装修繕にあたり、鋼床版の疲労耐久性の向上と、将来の維持管理の容易性確保の観点から、基層をSFRC舗装(※1)とした二層式舗装構造を採用することとしました。

この舗装構造は、SFRC舗装(一層式)に比べて疲労耐久性の確保や施工管理等の面から技術的難易度が高く、不確定要素も多いものの、一方で、民間企業での技術開発が期待できる分野であります。よって、技術開発・工事一体型調達方式の技術開発・工事分離発注方式による入札手続きを活用して広く民間企業から舗装構造の技術提案を求める手続きを開始しましたのでお知らせいたします。

※1: SFRC舗装とは、繊維補強コンクリート(Steel Fiber Reinforced Concrete)を利用した舗装工法です。

記(参考:別紙)

- | | |
|------------|----------------------------|
| 1. 参加表明期間 | 平成25年8月19日(月)～平成25年9月6日(金) |
| 2. 業務履行期間 | 平成25年10月中旬～平成26年3月 |
| 3. 入札・契約方式 | 簡易公募型プロポーザル方式 |

問い合わせ先

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

国土交通省関東地方整備局

道路部 道路工事課 課長補佐 中島 祥行 (TEL 048-600-1344)

なかじま よしゆき

技術開発・工事分離型
方式について

宇都宮国道事務所 工事品質管理官 鹿島 秀昭 (TEL 028-638-2181(代表))

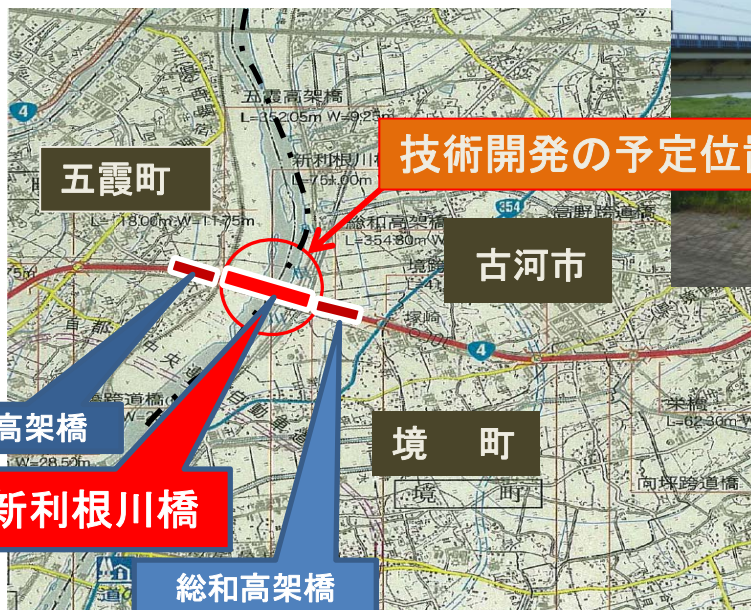
かしま ひであき

対象業務内容につ
いて

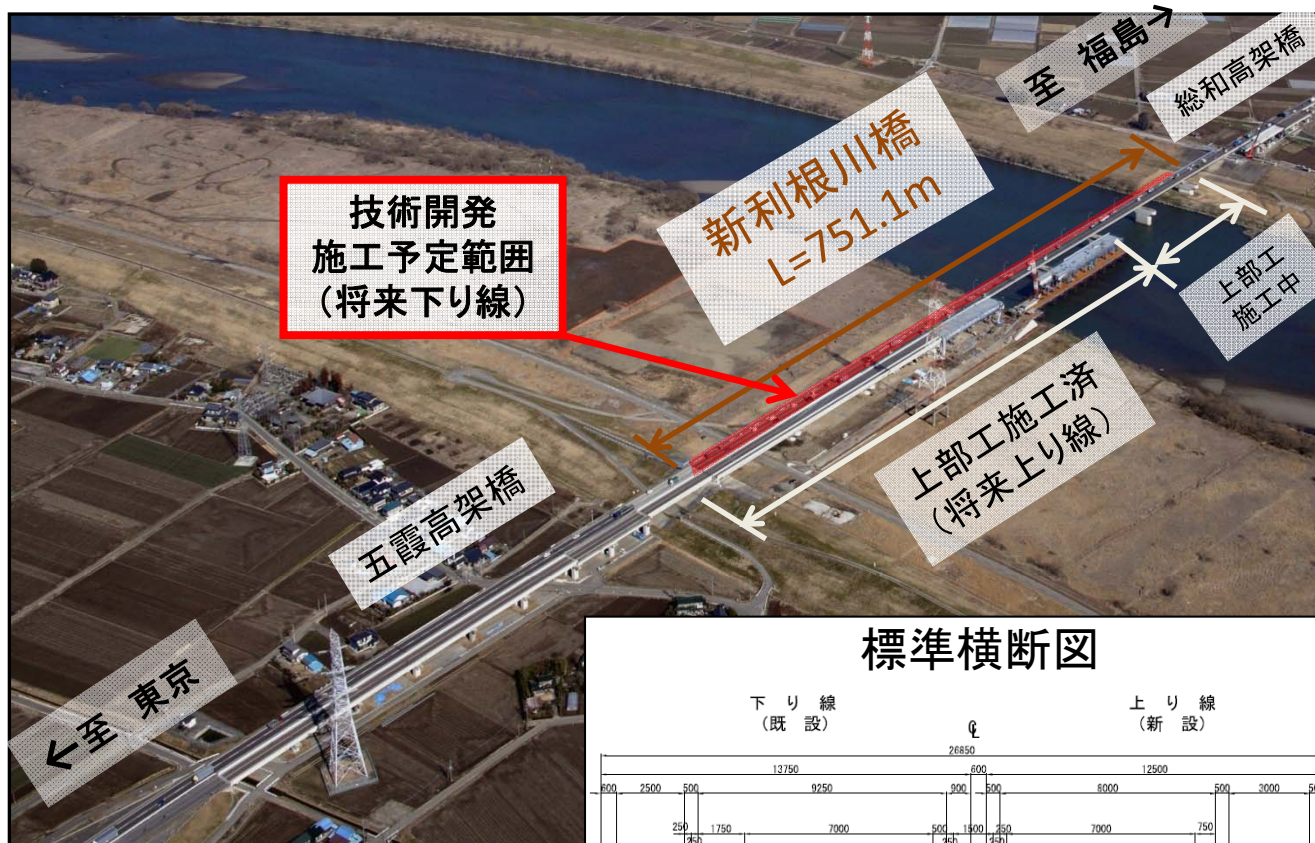
対象区間(技術開発)

新利根川橋

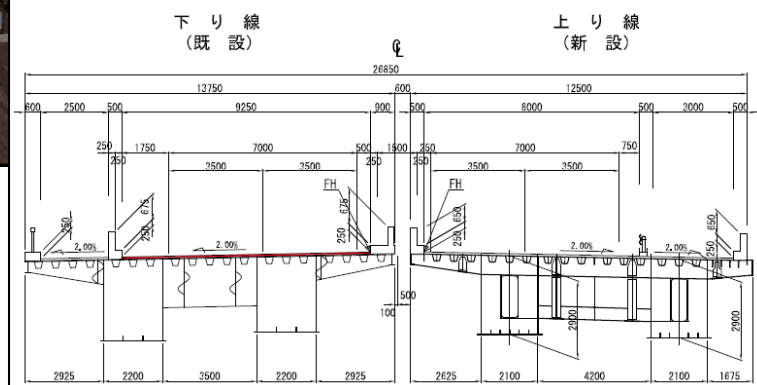
至
東京
方面



至
福島
方面



標準横断図

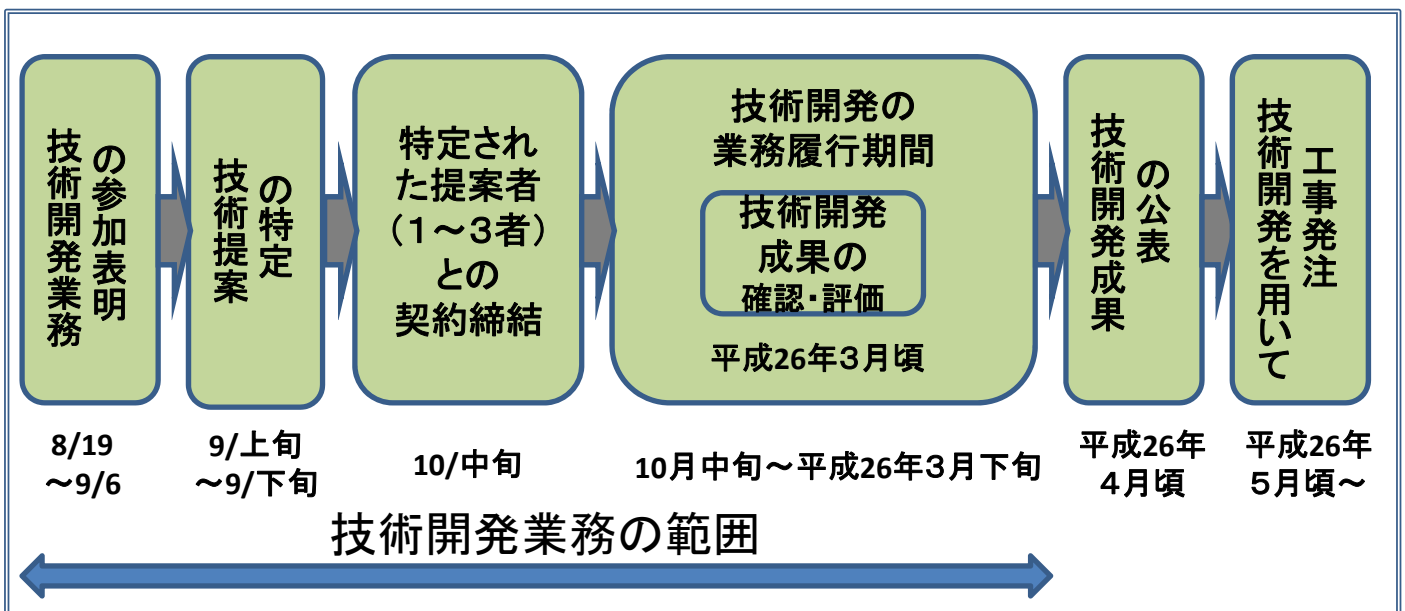


「新4号国道新利根川橋の鋼床版箱桁橋における舗装高度化の技術開発業務」の手続き開始について

技術開発業務の内容

本技術開発は、基層をSFRC舗装として二層構造を前提とし、新利根川橋固有の桁作用や温度変化、施工段階毎の荷重条件やそれらに応じて生じる鋼床版や桁の変形によるコンクリート系舗装への負荷を的確に反映した舗装構造とし、設計・施工管理計画を含めた舗装構造の技術開発・技術実証を試行的に行うものであります。

技術開発・工事分離型発注方式の手続きの流れ



◎ 応募された提案は、第三者委員会を活用し助言を頂きながら優れた1～3者の技術を特定します。

◎ 技術開発の業務成果(1～3業務)は、第三者委員会を活用し確認・評価を行い、成果の公表を行います。

◎ 技術開発の業務成果(1～3業務)を基に、別途、工事契約時に工事仕様として採用します。